

※ 搬送ベルトに関する情報を無料でお届けします。ご不要の際はご面倒ですが、御社名FAX番号をご記入頂き、FAX06-6465-0708へご返信くださいますようお願い申し上げます。

# 搬送ベルト知っとく情報

(21年/10月)No.213

発行：吉野ゴム工業(株)

@企画 出口

過去の情報は



こちらから

～ベルトコンベヤ設備をお持ちの皆様にお役に立つ情報をお届けします～

## ◆YOSHINO ワンポイント情報!◆

### 【帆布の材質】

以前にも紹介しましたが、コンベヤベルトは張力に耐える為の「芯体帆布」と、この芯体帆布を保護する為に覆っている「ゴム」で成り立っており、ゴムに種類があるように、芯体帆布の材質にも種類があります。



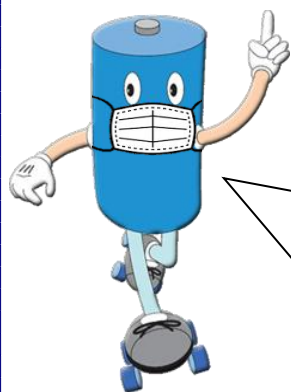
現在のベルトコンベヤシステムの原型は、1765年にアメリカで発表された木製のトラフの中を皮や帆布のベルトを摺らせる形のものと言われています。1840年代にはゴム工業の発達によって、綿帆布を重ね合わせてその外面をゴムで覆うゴムベルトが作られるようになりました。

更に1940年ごろからは合成繊維の研究が進んだことで、レーヨン帆布が登場、その後、ナイロンが発明されたことで、ベルト強力の大きなベルトの製作が可能となり、コンベヤベルトは大きく進歩しました。

一方で、ナイロン帆布は「伸び」が大きい為に、長機長になるとテークアップストロークを長くとらねばならず、配置計画の難しさが難点となっていました。

現在は、ナイロンよりも伸びが小さいポリエステル帆布が主流となっています。

テークアップストロークが短く出来ることより、コンベヤ全体がコンパクトになるなどメリットもありますが、その反面ベルトの伸びが小さい故に異物噛み込みに弱く、噛み込みの多い設備では、今でもナイロン帆布のベルトが使用されています。



現在コンベヤベルトに使用されている帆布は、主にポリエステルとナイロンです。

材質は、ベルト仕様書に記載されています。

緊急事態宣言は解除されましたが、「マスク・手洗い・うがい・・・」等、基本対策は、しっかり続けていきましょう。

**Yoshino** 吉野ゴム工業株式会社  
YOSHINO RUBBER INDUSTRIAL CO.,LTD.

■ URL > <https://www.yoshino-rubber.com>

大阪Tel > 06-6461-5751

東京Tel > 03-3883-7159

名古屋Tel > 052-602-0090

九州Tel > 093-551-0775